

## 令和6年度入学式 式辞

やわらかな風の中、春の息吹を感じる季節となりました。本日ここに、御来賓の皆様、御臨席と保護者の皆様の御列席を賜り、令和六年度愛媛県立南宇和高等学校入学式が挙げていただけますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びであります。学校を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました八十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎します。また、これまでずっとお子様を温かく支えてこられた保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。

本校は、今年度、創立百十七年目を迎える県内屈指の伝統校です。私も皆さんと同じく、この四月に南宇和高校に通うこととなりました。校長室の私の机から見るところに、新渡戸稲造揮毫の「本立ちて道生ず」という論語の教えが掲げられています。「本立ちて道生ず」とは、「根本さえ把握すると、道はおのずからひらけて行くもの」という意味です。基礎基本を大切に、文武両道の教育に熱心に取り組み、地元から深く愛されながら、本校は大きな成果を上げています。皆さんも、自信と誇りを持って、ここで学んでください。

今日は、皆さんが高校生活を迎えるに当たって、一つの言葉を送ります。それは、教育学者である森信三氏の「時を守り、場を清め、礼を正す」です。「時を守る」時間を守ることは、ほかの人の時間を尊重することであり、自分が信頼されることにつながります。「場を清める」掃除をし、整理整頓することは心を磨くことです。目配り、気配りができるようになり、感謝の心が芽生えます。「礼を正す」とは、挨拶をすること、返事をするということです。挨拶という言葉の意味は、心を開いて相手に迫るということです。気持ちの良い挨拶や返事から良い人間関係は始まります。「時を守り、場を清め、礼を正す」この基礎基本を、高校生活の中で、日々実践してください。そのことが、自分を大切にしながら、他者を尊重する心を育み、皆さんをひとまわり大きな人間に成長させることでしょう。

保護者の皆様に申し上げます。私たち教職員は、皆様の期待と信頼に応えるべく、生徒の限りない可能性を信じ、有意義な学校生活を送れるよう全力で教育に取り組めます。どうぞ、本校の教育活動に御理解を賜り、御支援・御協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御多用の中、御臨席いただきました皆様に、重ねて感謝を申し上げますとともに、新入生の皆さんが、それぞれの目標を持ち、勉学や部活動、学校行事に全力で取り組み、個性や才能を存分に伸ばすことを祈念して、式辞といたします。

令和六年四月八日

愛媛県立南宇和高等学校長 清水 幸一